

箇所番号	9	(道路事業見直し)					
事業名	地域振興県道整備事業	箇所・地区名	(主)茅野小淵沢葦崎線				
見直し案	<p>当初計画上の課題・問題点 (交通量と交差点形状) <ul style="list-style-type: none"> ・本箇所における危険性や交通渋滞の主な原因は、JRガードが交差点内に存するという交差点形状にある。 ・小淵沢方面への交通量は2,676台/日(H11セカス)と多くなく、交差点の形状を改良すれば、JRガードの拡幅が緊急の課題とは言い難い。 (JR立体と計画期間) <ul style="list-style-type: none"> ・JRガードの老朽度は著しく進んでおらず、管理者であるJRとの計画協議も進展していない。 ・一般的にJR立体事業は運行の安全確保を優先して実施するため、工事の完成まで長期間を要する。 (費用対効果) $B/C = 0.54$ 所管部の今後の方針 「見直し継続」 交差点改良のみに止め、早期の効果発現に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・現状と同様に、主交通である長坂駅方面(県道長坂高根線)から葦崎方面(県道茅野小淵沢葦崎線)を結ぶ方向の線形改良に重点を置き、従交通である小淵沢方面(県道茅野小淵沢葦崎線)と新たな広域農道との交差が安全かつ円滑に行える交差点改良のみの計画に止める。 ・幅員が狭小なJR中央線ガードについては、未だ更新時期に至っていないこと、改築に多額の費用や期間が必要なことを考慮し、当面、現JRガード付近に視距改良を併せ持つ待避所を設置し、安全性を確保する計画とする。 ・広域農道の接続も平成19年度までに実施することとする。 </p>						
	見直し後の計画概要						
		見直し前		見直し後			
	計画期間	平成10年～平成23年		平成10年～平成19年			
	工事概要	道路改良工 L=970m W=6.0(10.0)m 交差点改良 2箇所 JR体改良 1箇所		道路改良工 L=400m W=6.0(10.0)m 交差点改良 1箇所			
	全体事業費	C = 3,000百万円		C = 1,000百万円			
	B/C	0.54		1.10			
	見直し後の事業計画						
		*H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	算出方法 事業費
	計画	5.7%	8.9%	9.9%	15.5%	44.1%	
実績	5.7%	8.9%	9.9%	15.5%	44.1%		
	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	算出方法 事業費	
計画	46.3%	49.8%	64.8%	79.8%	100.0%		
実績	46.3%	49.8%	%	%	%		